 もっとはたらきやすい職場にしませんか？

## 2016 全道職場実態・要求アンケートのまとめ

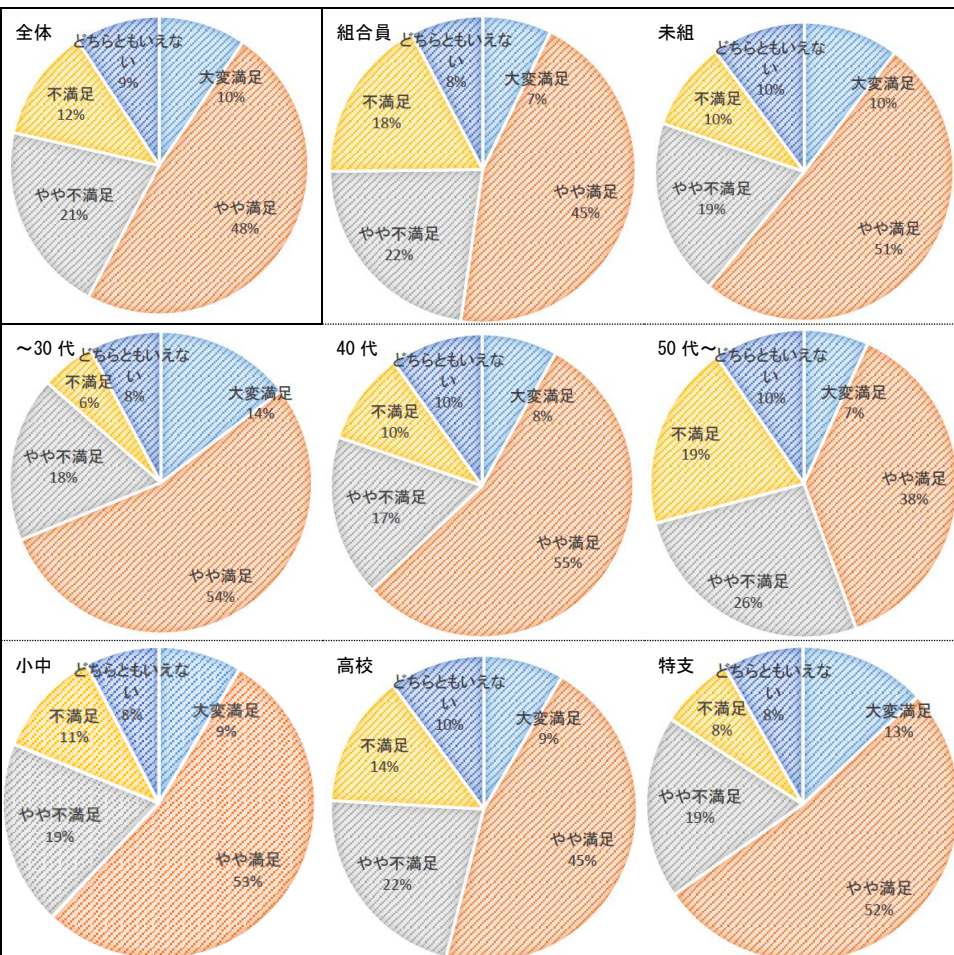
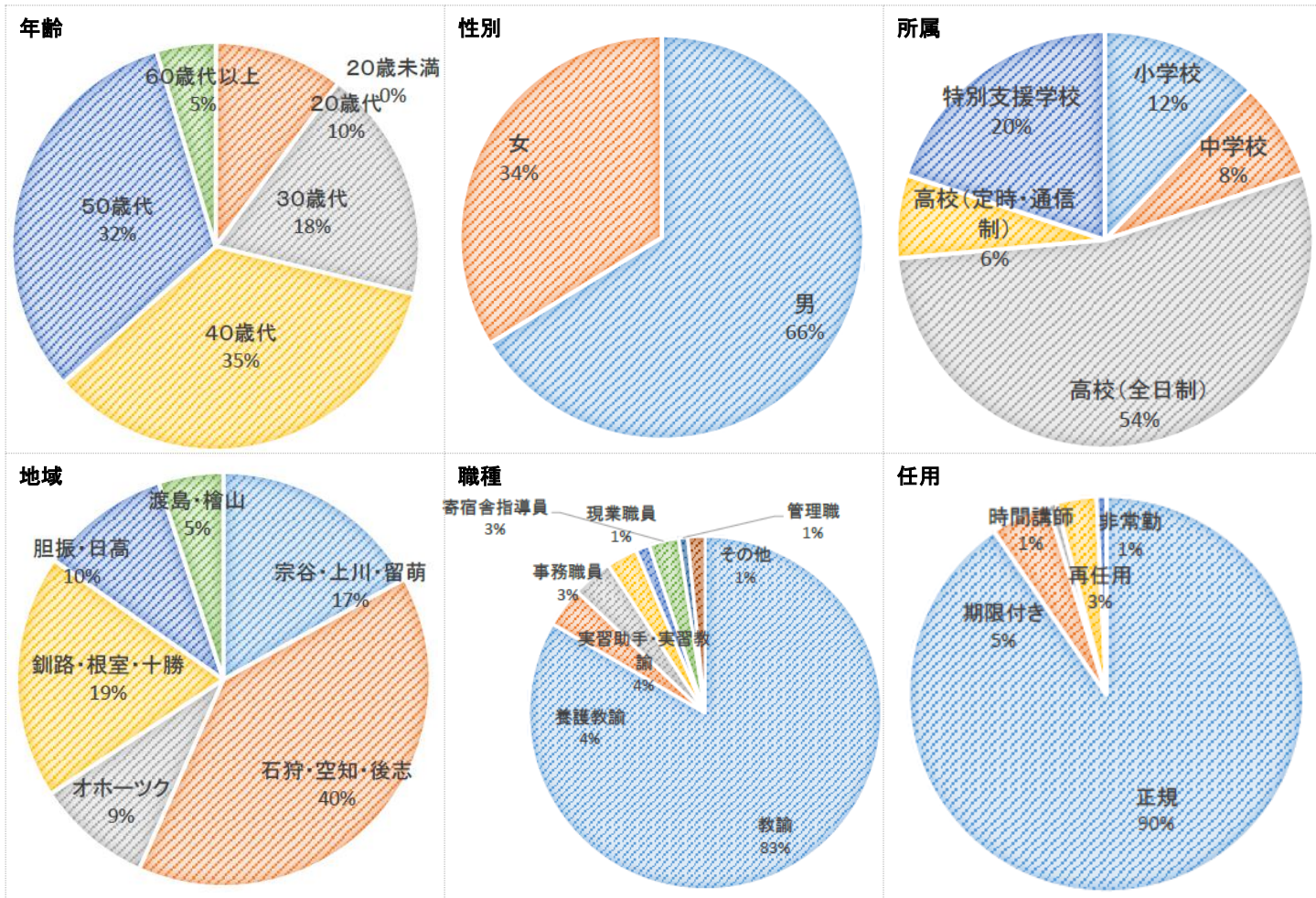


「全道教職員の願いや要求を組合として受け止め、それらを束ね、要求実現に向けとりくみをすすめる」ことを目的に、2016年7月～9月にかけて、全道の小中学校・高校・特別支援学校で「2016 全道職場実態・要求アンケート」を実施し、合計1620名からの回答がありました。アンケートにご協力いただいた教職員みなさまに、この場を借りて感謝申し上げます。

回答結果からは、長時間過密労働に追われる学校現場の実態や、それらを早急に解消してほしいという切実な要求が浮かび上がっています。また、道教組・高教組の組合活動・共済会のとりにくみに対する「信頼や期待」とともに、「不満や改善」を求める声も寄せられています。

集約したアンケート結果をもとに、現場の実態と諸要求を道教委にぶつけながら、教職員も子どもたちも笑顔で楽しく過ごせる学校・職場となるよう、道高教組・道教組はとりくみをすすめていきます。各職場においても、労働環境改善や要求実現に向け、議論が広がることを願っています。

北海道高等学校教職員組合・全北海道教職員組合



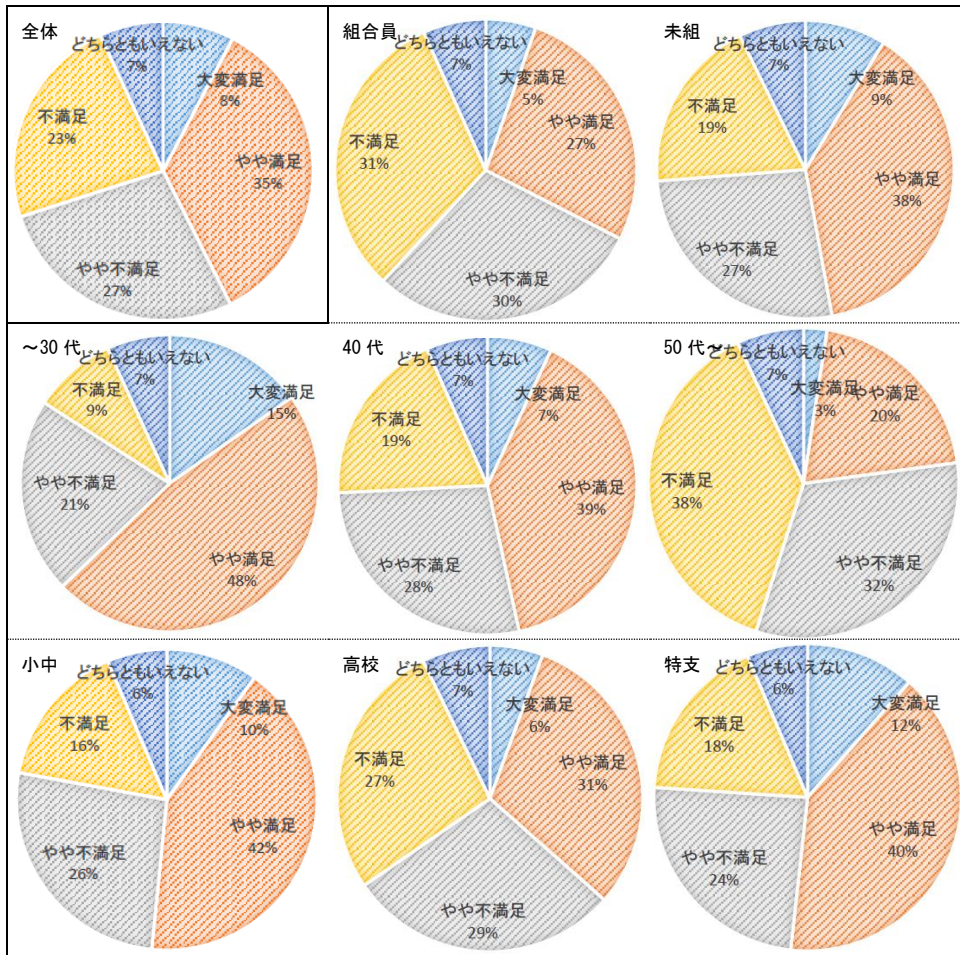
## ① 教職員生活について

年齢を重ねるごとに満足度が低下。小中・特別支援学校では6割を超える満足度

「大変満足/やや満足」との回答は、未組合員より組合員が10%低く、「不満足」との回答も、未組合員の約2倍の結果となった。

年代別では、30代までは7割の満足度が、年齢が上がると毎に満足度が低下し、不満足度が高まっている。

高校と比較し、小中・特別支援学校の満足度が高い結果となった。



## ② 賃金・一時金 (ボーナス) について

未組合員や若年層ほど満足度が高く、組合員、中高年層ほど満足度は低い

組合員の「大変満足/やや満足」の割合は、未組合員と比べ15%ほど低く、「不満足/やや不満足」と感じる割合も未組合員より15%も高い。

年代別では、30代までは7割弱の満足度が、40代になると5割を切り、50代以上になると2割という結果となった。

小中・特別支援学校では5割を超える満足度が、高校では4割を切る結果となった。

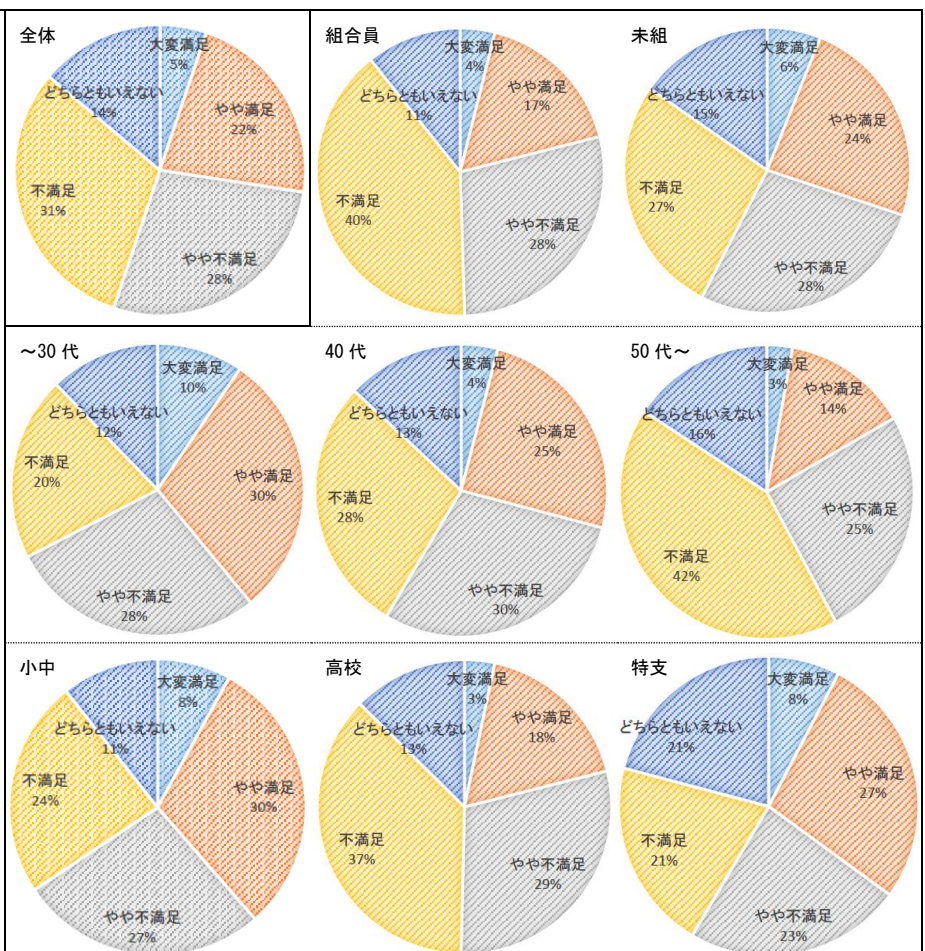
## ③ 諸手当(部活動手当・へき地手当など)について

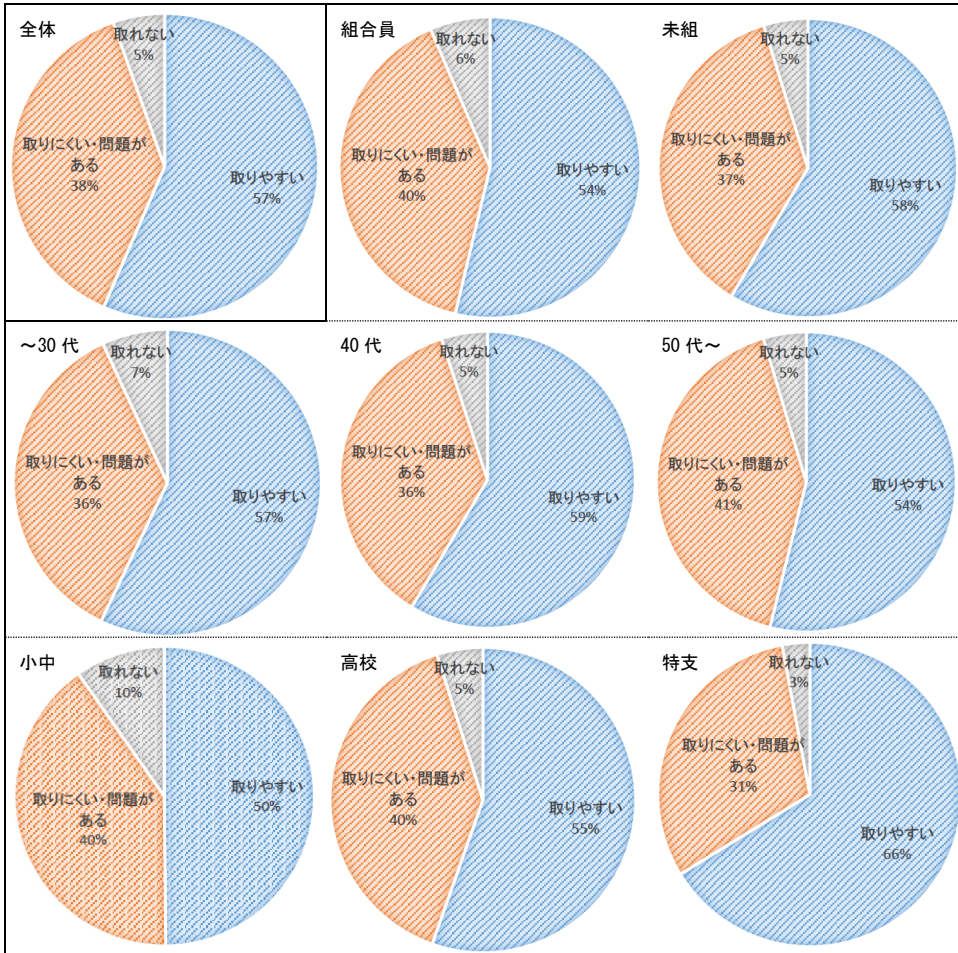
諸手当の満足度は、賃金・一時金の満足度より10%程度低く、高校、中高年の満足度が低い

「賃金、一時金」に比べ、「諸手当」に対する満足度が10%程度低くなっている。また、組合員の満足度は、未組合員に比べ10%低い結果となった。

年代別では、30代までは4割程度の満足度が、40代では3割、50代以上では2割を切る結果となった。

小中・特別支援学校では3～4割の満足度が、高校では2割となっている。





#### ④ 年次有給休暇について

年齢別で「取りやすさ、取りにくさ」の差はない。小中・高校では「取りにくい・問題がある」との回答が4割

全体の6割弱が「取りやすい」と回答している。

組合加入別、年代別ともに、「取りやすさ」「取りにくさ」については、大きな違いは見られない。

特別支援学校と比較し、小中・高校の「取りやすい」の割合が10%程度低くなっている。

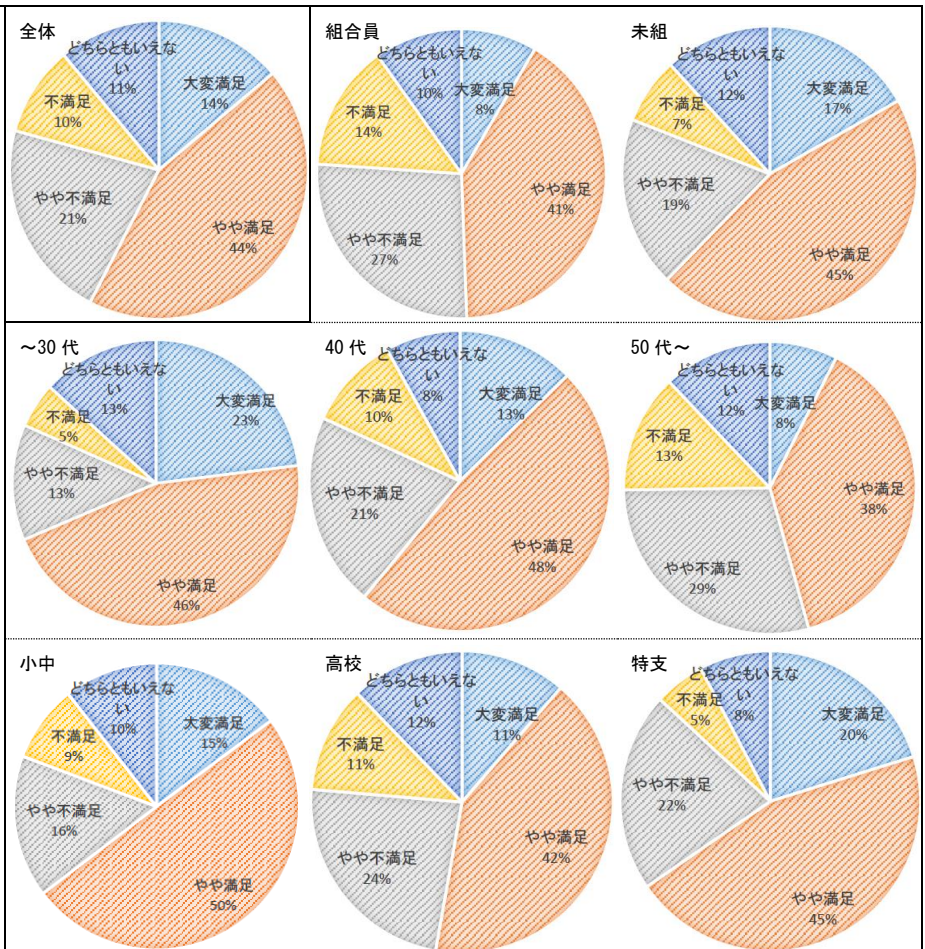
#### ⑤ 特別休暇(夏季休暇・育児休暇・子の看護休暇・介護休暇など)について

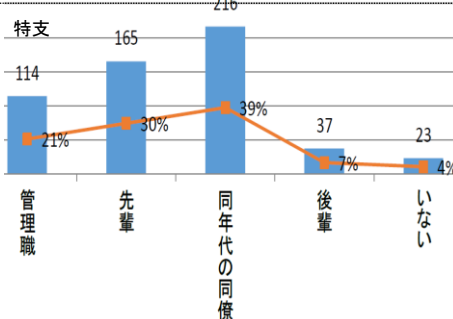
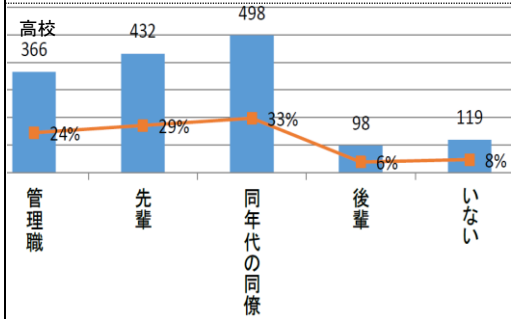
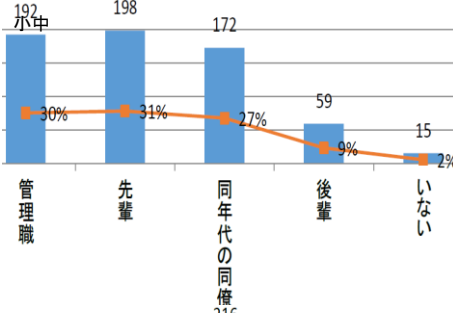
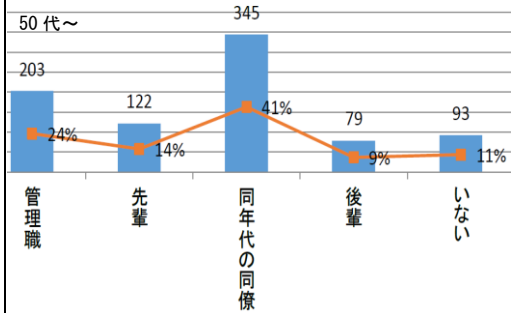
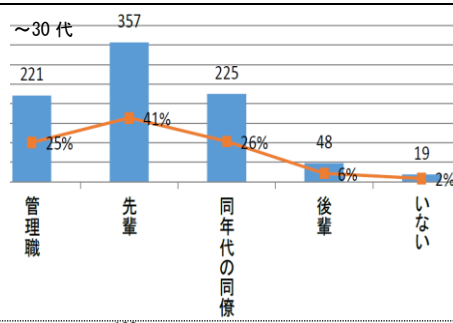
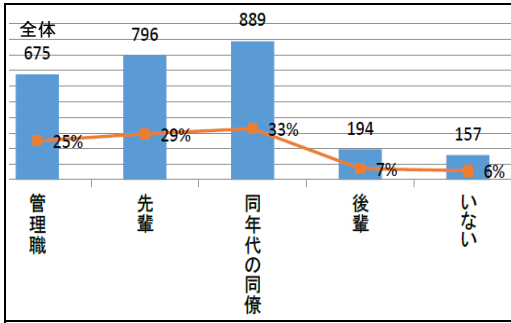
組合員・高校の満足度が低く、年齢を重ねるごとに満足度が大きく低下している

6割を超える未組合員が「大変満足/やや満足」と回答しているが、組合員は5割を切る結果となった。不満足との回答も未組合員の2倍となっている。

年代別では、30代までは7割の満足度が、40代には6割、50代以上になると5割を切っている。

小中・特別支援学校と比べ、高校の満足度が10%以上も低い結果となった。





## ⑥ 職場で困った時、誰に相談しますか？

小中学校と高校・特別支援学校では大きく異なる結果に。高校の「いない」の割合が高い

組合の加入別では大きな違いは見られない。

年齢を重ねるごとに「いない」「同年代の同僚」の回答が増えている。

高校・特別支援学校では「同年代の同僚」、「先輩」、「管理職」の順で割合が高いが、小中学校では「管理職」「先輩」の次に「同年代の同僚」と大きく異なる結果となった。

高校の「いない」の割合が、他校種より2~4倍高い。

## ⑦ 人事異動について

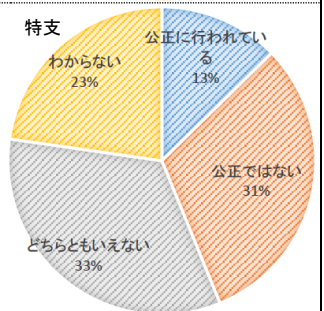
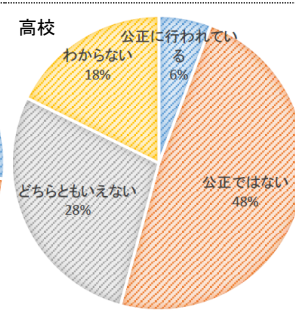
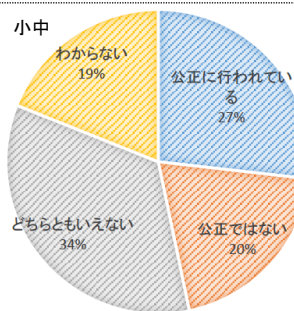
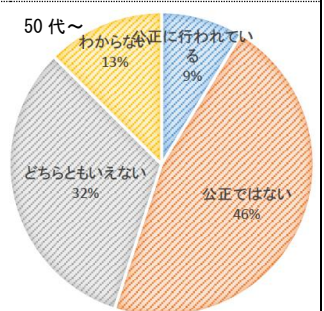
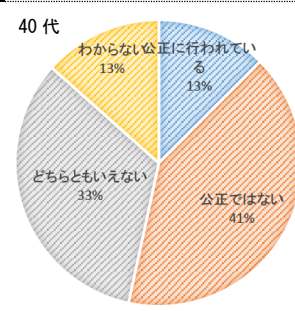
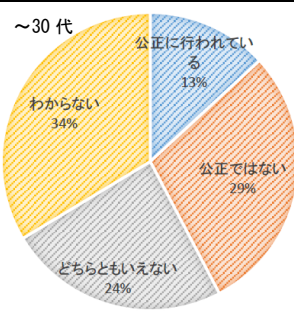
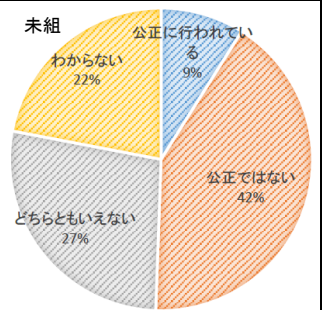
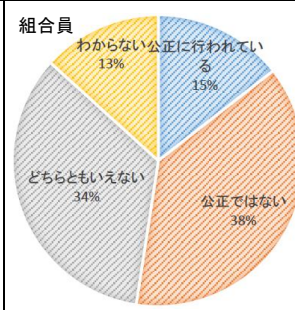
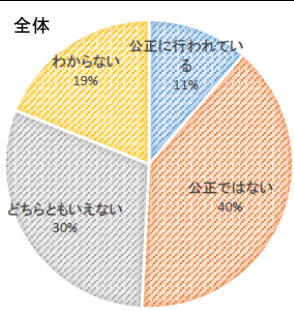
「公正に行われている」は1割。地域別では大差ないが、高校の「公正ではない」の割合が高い

全体の4割が「公正ではない」と回答している。

組合の加入別では「公正」「公正ではない」の大きな違いは見られない。年齢が上がるると「公正ではない」の割合が増える。若年層の「わからない」の割合が高い。

「公正ではない」の割合、小学校では2割だが、特別支援学校では3割、高校では5割となった。

高校では「公正」との回答はわずか6%にとどまっている。



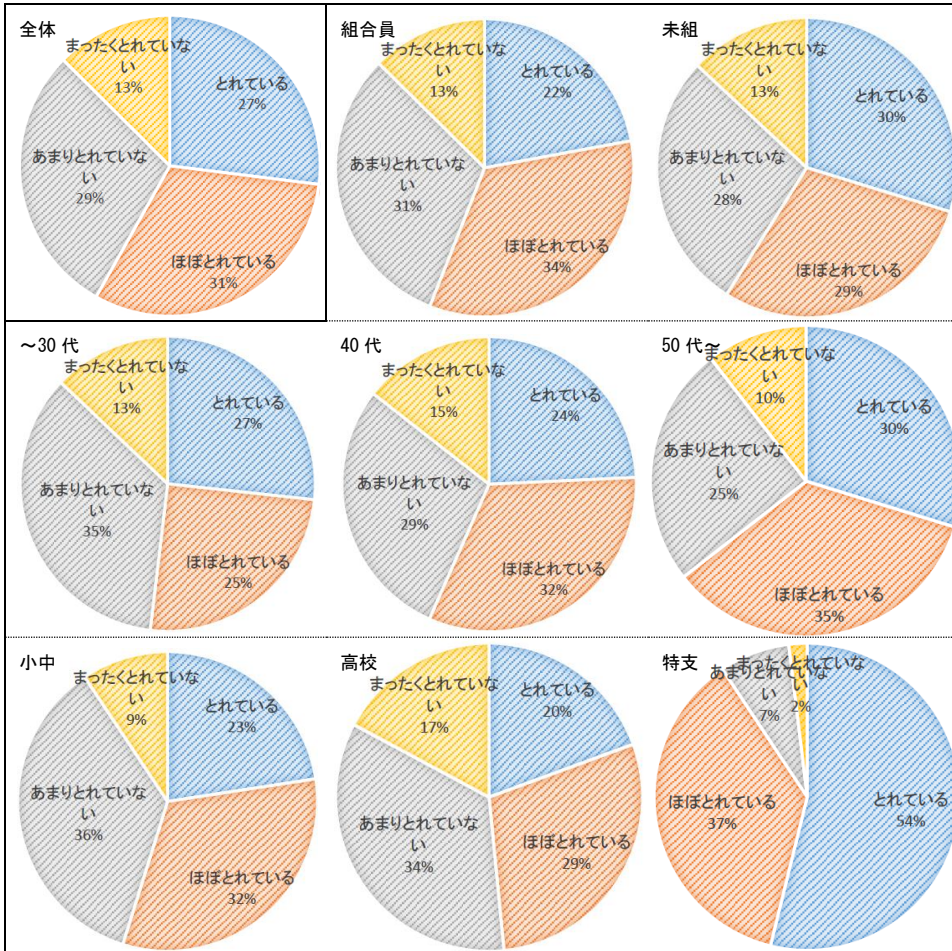
## ⑧ 土日祝日など丸1日の休みがとれているか

若年層と高校では「とれていない」割合が高い

「とれている」割合が、未組合員より組合員が低い結果となった。

年代別では、50代以上では7割が「とれている/ほぼとれている」が、年齢が下がるとその割合が低下している。

特別支援学校では9割が「とれている/ほぼとれている」が、小中・高校では4~5割が「とれてない/まったくとれていない」という結果であり、高校の「まったくとれていない」割合は2割弱にも及ぶ。



## ⑨ 勤務時間の把握(タイムカードやPCのON/OFF)について

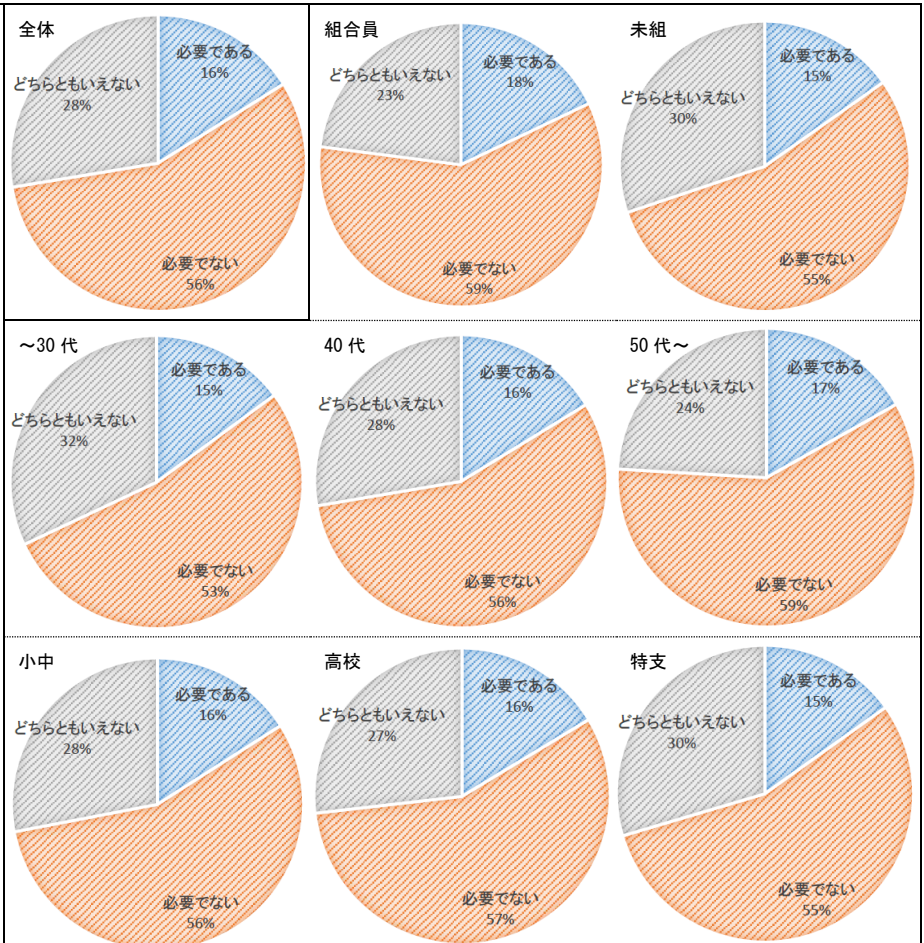
「必要ではない」が「必要である」の3.5倍。50代以上の6割は「必要ではない」

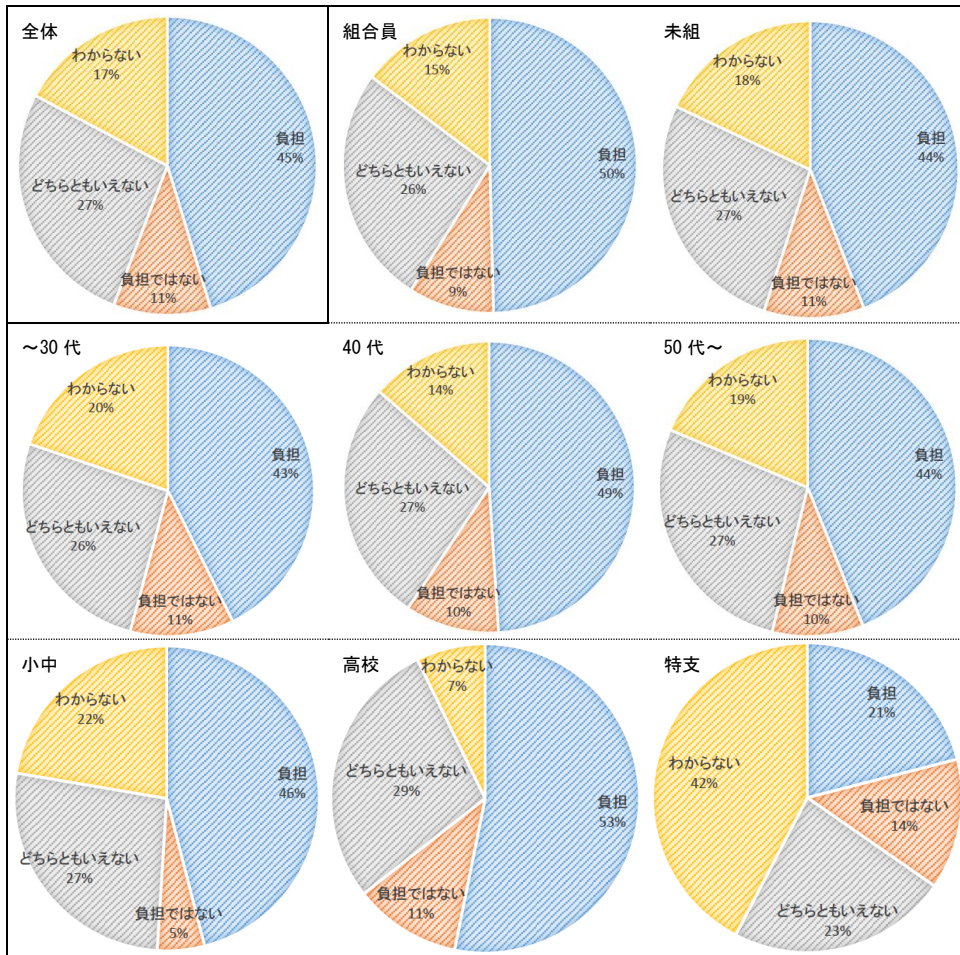
全体の56%が「必要でない」と回答し、「必要である」は16%にとどまっている。

「必要である」「必要ではない」いずれの回答も未組合員より組合員が高い。

年齢が上ると「必要ではない」の割合が高くなり、若年層ほど「どちらともいえない」の割合が高くなっている。

校種別では大きな違いは見られない。





## ⑩ 部活動・少年団の指導について

40代、小中・高校では5割が「負担」と回答。「負担ではない」は1割以下

「負担」との回答が、未組合員に比べ、組合員が若干高い結果となった。

年代別では、40代の5割が「負担」と回答しており、他の年代より高くなっている。「負担ではない」との回答は、年代を問わず1割という結果となった。

高校では5割以上が「負担」と回答し、小中学校の「負担ではない」は5%。

## ⑪ 1日平均の時間外労働について (休日・持ち帰り含む)

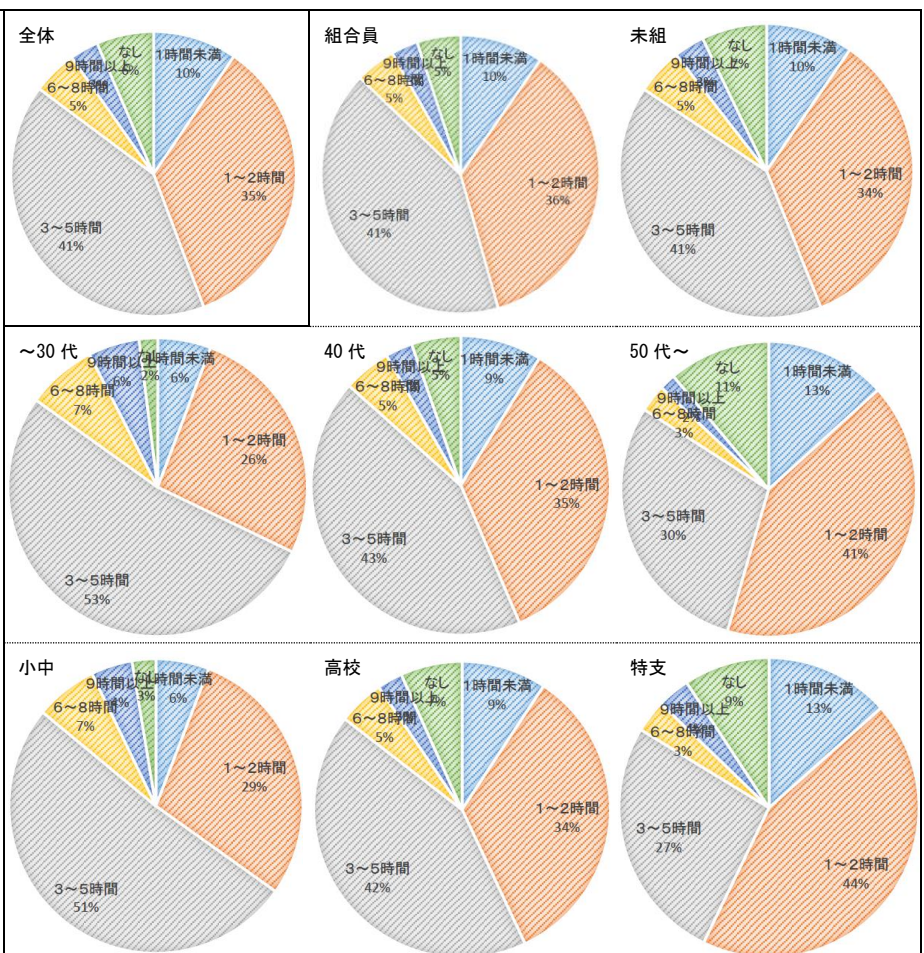
若年層ほど時間外労働が多く、小中・高校では6割が毎日3時間以上の時間外労働を行っている

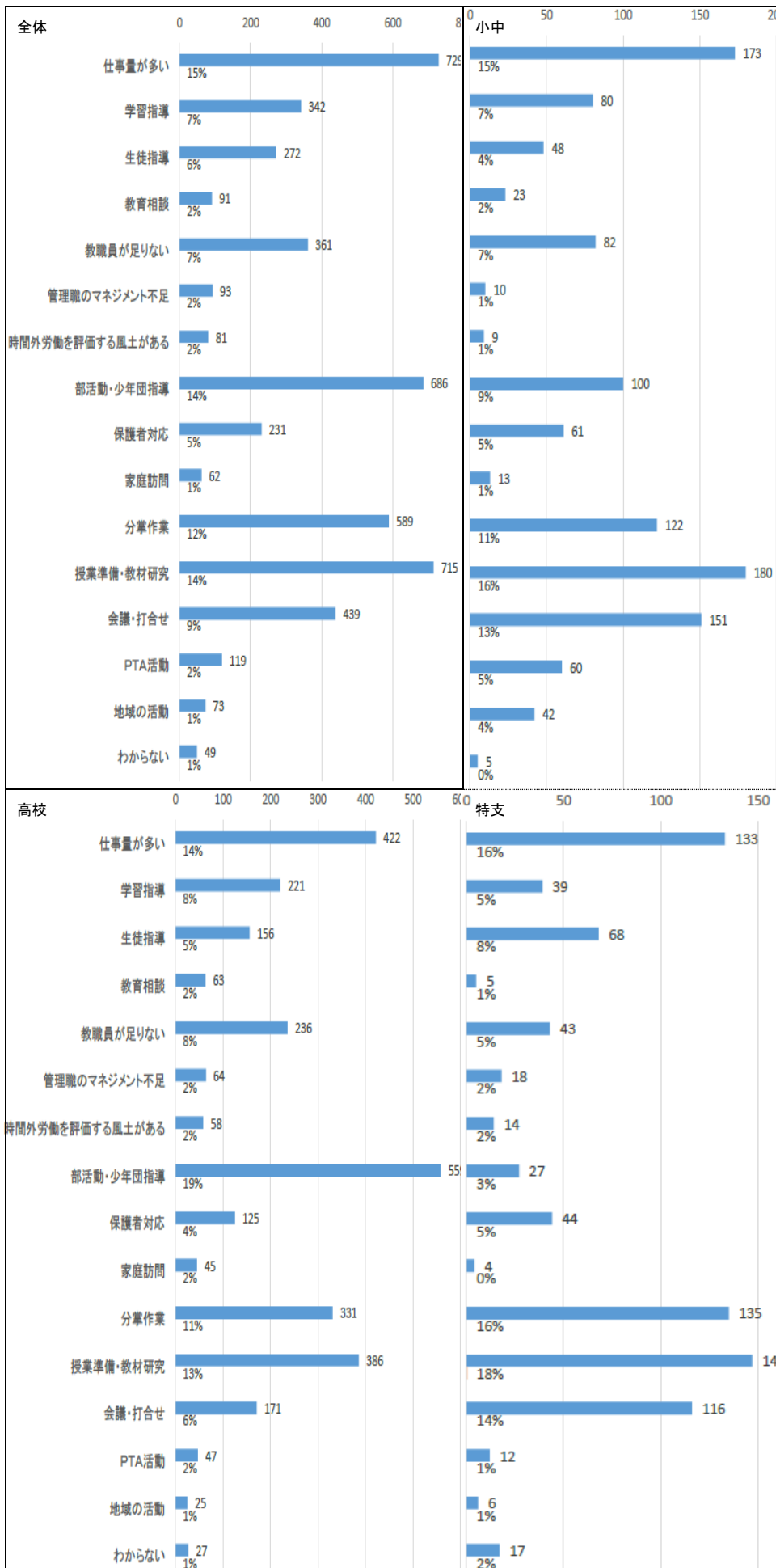
全体では「3～5時間」が4割を占め、6時間以上も8%。組合の加入別で、大きな差はない。

30代以下の「なし」は2%しかなく、5割以上が「3～5時間」と、年齢が下がるごとに、時間外労働が増えている。

小中・高校では5割が「3～5時間」と回答している。

「なし」の回答が最も高かった特別支援学校でも、その割合は1割弱にとどまる。





## ⑫ 時間外労働が発生する主な理由

高校では「部活動指導」、小中・特別支援学校では「授業準備・教材研究」

全体では「仕事量が多い」「授業準備・教材研究」「部活動・少年団指導」「分掌作業」「会議・打合せ」の順となっている。

組合の加入別や年代別では大きな違いは見られないが、若年層は「教材研究・授業準備」の割合が高い。

所属別では、小中・特別支援学校で「教材研究・授業準備」や「会議・打合せ」が高く、高校では「部活動指導」が高い。

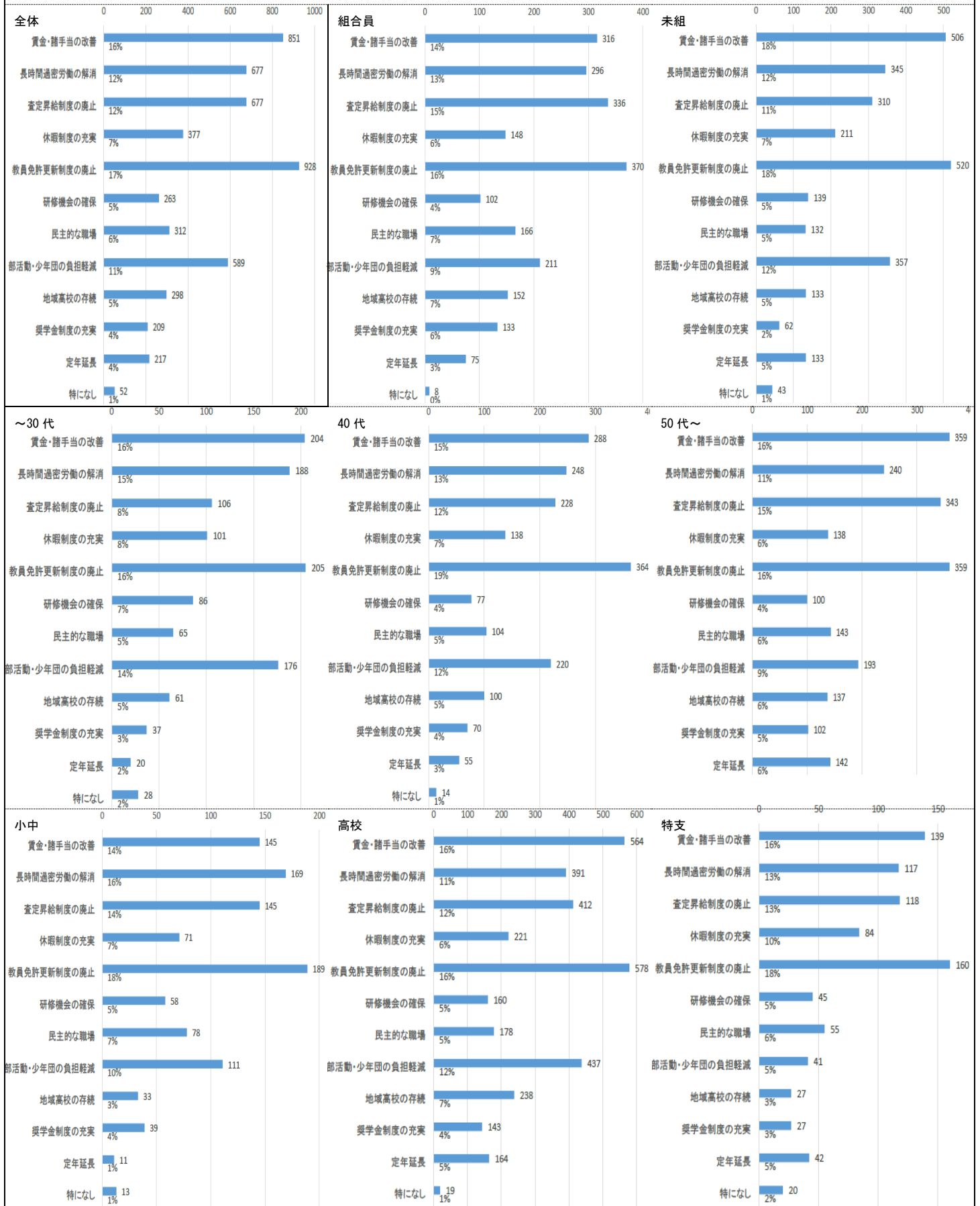


# ⑬ 学校・職場で改善を求めること、実現してほしいこと

「教員免許制度の廃止」への要求は、年代、所属を問わず高い

「査定昇給制度の廃止」は、未組合員より組合員、若年層より高齢層の要求が大きい。

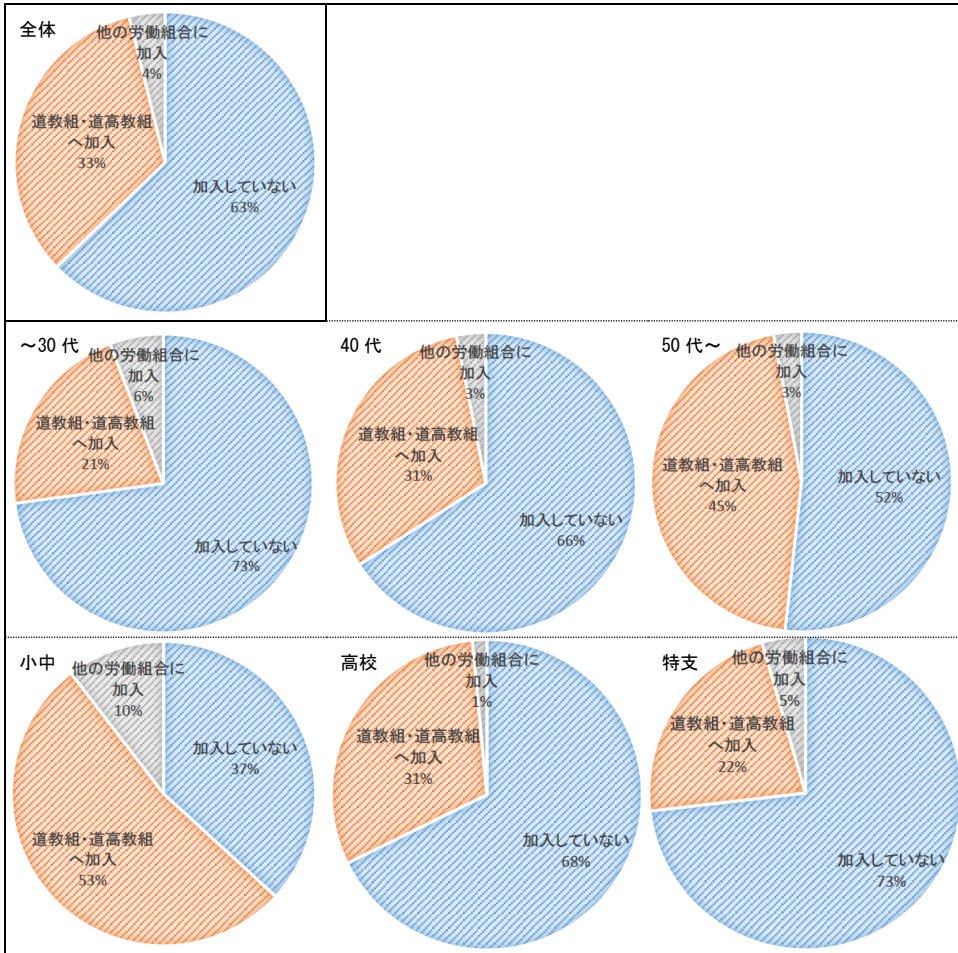
小中・高校では「部活動・少年団の負担軽減」への要求が大きい。



## ⑭ 労働組合について

未組合員の6割からアンケートを回収。年齢が下がるごとに組合加入率は低下

加入率は、50代以上では4割を超えているが、40代では3割、30代以下では2割超と低下している。

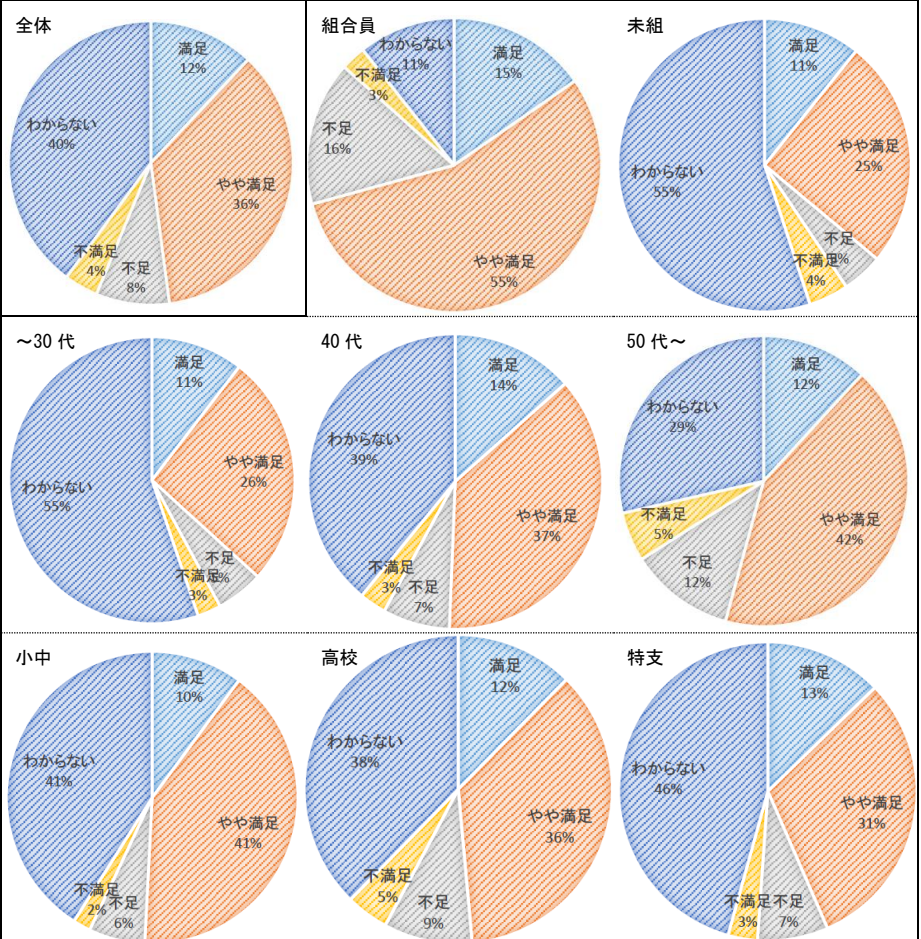


## ⑮ 道教組・高教組のとりくみについて

未組合員の4割弱が「大変満足/やや満足」と回答。若年層ほど「わからない」の割合が高い

全体では5割弱、未組合員の4割弱が、道教組・高教組のとりくみに「満足/やや満足」と回答している。未組合員と30代以下の「わからない」との回答が5割を大きく超えている。

いずれの年代でも「満足」との回答は1割を超えている。「やや満足」は、50代以上は4割だが年齢が下ると低下していく。若年層の「わからない」の割合も高い。



## ⑬ 道教組・高教組のイメージについて

「頼もしい」の次には「分かりにくい」。若年層ほどネガティブなイメージ割合が高い

どの回答をみても「頼もしい」の割合が高い。ポジティブな回答では「頼もしい」「正しい」「優しい」の順、ネガティブな回答では「分かりにくい」「片寄っている」「古い」の順である。ポジティブな回答とネガティブな回答の割合は以下の通り。

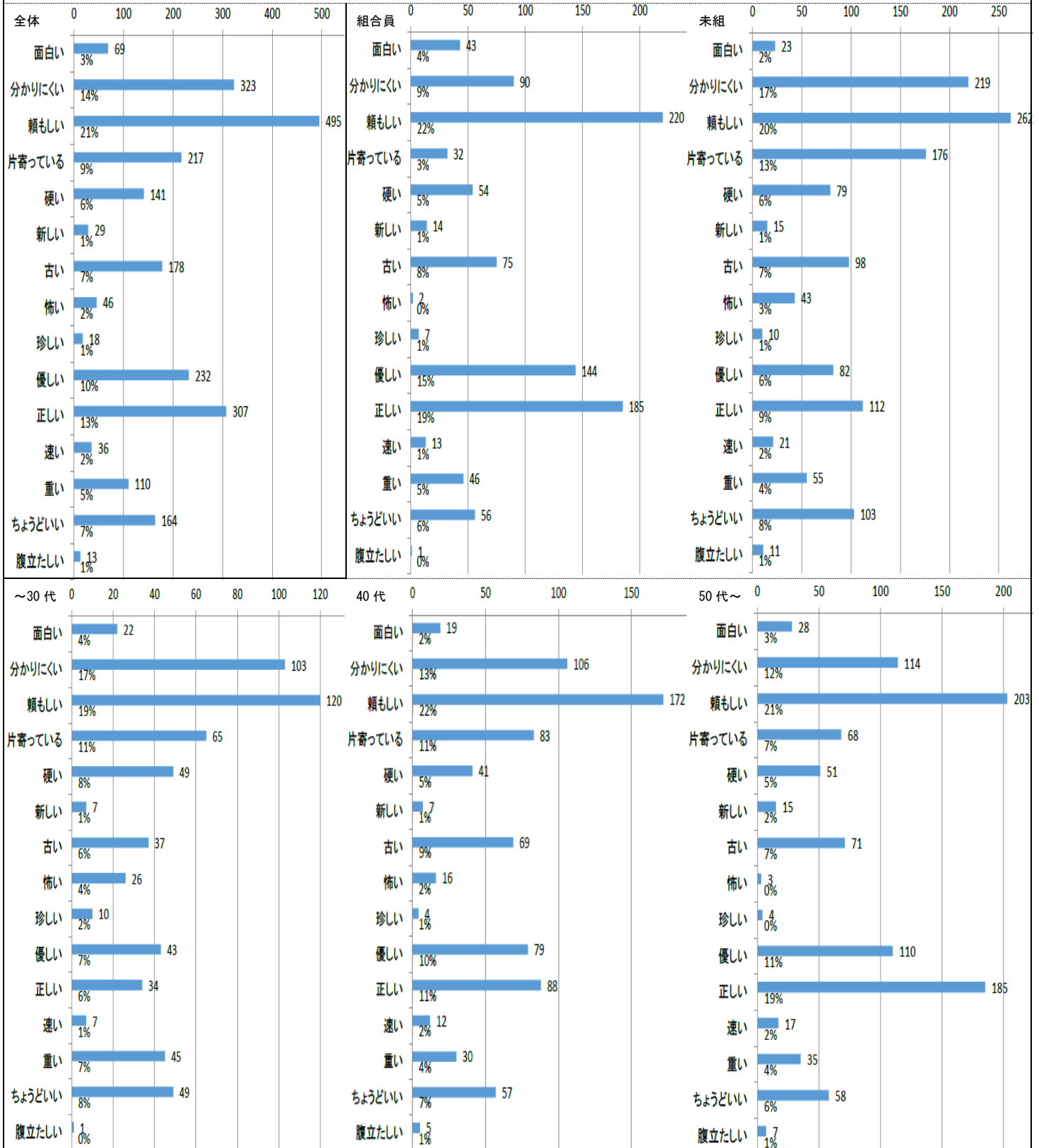
組合員 pos 7 : 3 neg

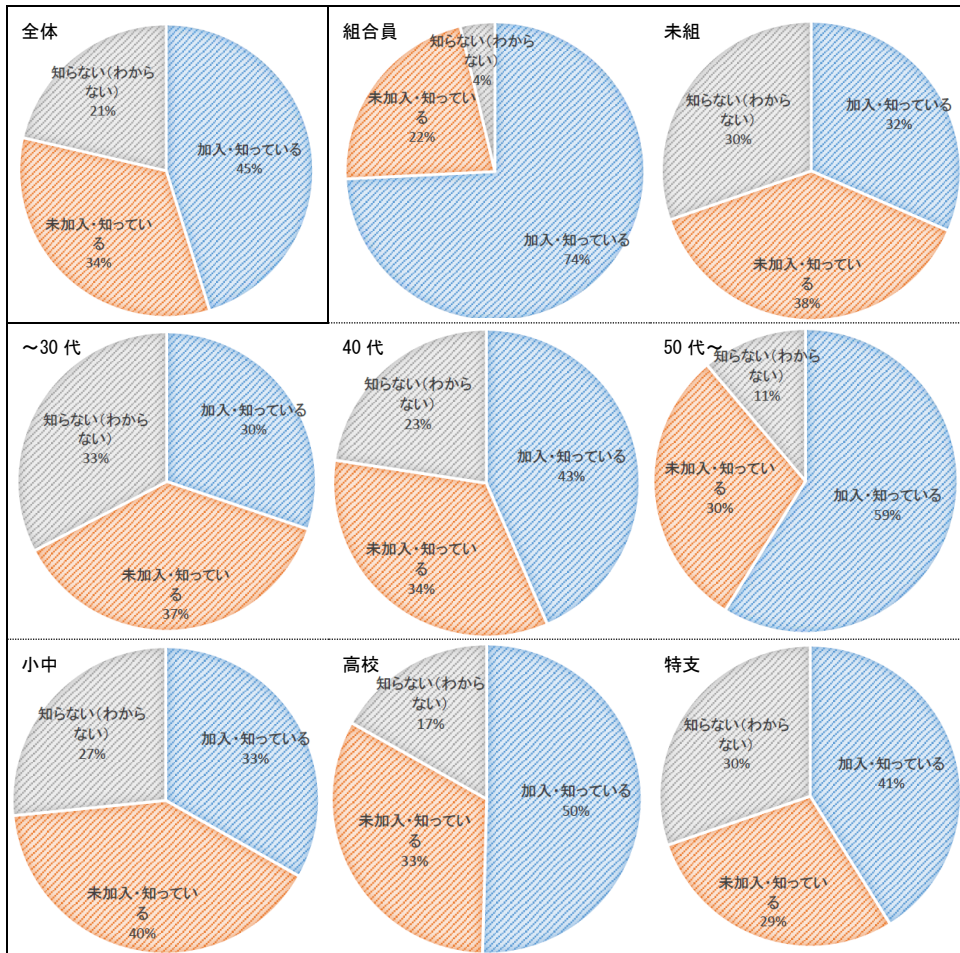
未組合員 pos 5 : 5 neg

～30代 pos 4 : 6 neg

40代 pos 5 : 5 neg

50代～ pos 6 : 4 neg





## ⑰ 総合共済について

若年層、小中・特別支援学校の「知らない・分からない」割合が高い

共済加入者は、50代以上は6割を占めるが、30代までとなると3割と半減している。また、「知らない・分からない」の割合も3倍となった。未組合員より、若年層教職員の加入割合、認知度が低い結果となった。



## 2016 全道職場実態・要求アンケートのまとめ

2016年10月15日発行  
企画/集計/発行 北海道高教組・道教組

北海道高等学校教職員組合連合会  
〒060-0042 札幌市中央区大通西12丁目  
TEL 011-231-0816 FAX 011-241-8510